

C 国庫補助金交付額交付学校数調

交付年度	小学校		中学校		高等学校		盲学校		聾学校		養護学校		合計	
	対象校数	交付額	対象校数	交付額	対象校数	交付額	対象校数	交付額	対象校数	交付額	対象校数	交付額	対象校数	交付額
年度	校	千円	校	千円	校	千円	校	千円	校	千円	校	千円	校	千円
29	62	4,092	66	6,544	5	516	1	30	1	30	1	30	135	11,212
30	60	3,747	45	4,618	25	2,575	2	70	1	43			133	11,053
31	58	3,450	43	4,211	23	2,363	1	34	2	66			127	10,124
32	63	3,664	47	4,475	24	2,452	1	50	2	98			137	10,739
33	75	4,571	61	5,634	22	3,159	1	53	2	100			161	13,517
34	88	4,723	67	6,531	25	3,132	3	105	1	41			184	14,532
35	100	5,524	63	6,787	24	3,533	1	41	3	105			191	15,990
36	144	11,276	51	5,985	27	3,915	0	0	0	0	1	87	223	21,263
37	194	14,286	52	6,116	40	7,275	4	240	4	420	1	90	295	28,246
38	186	12,916	55	6,275	34	6,284	4	210	4	240	1	61	284	25,986
39	177	13,888	69	7,204	27	5,550	0	0	1	80	1	60	275	26,782
合計	1,207	82,136	619	64,380	276	40,754	18	833	21	1,043	4	298	2,145	189,444

D 昭和40年度理科教育設備補助事業実施状況

学校種別	学校数	国庫補助額	設置者負担額	補助事業額
小学校	168	12,041,000	12,107,800	24,148,800
中学校	79	7,925,000	7,974,255	15,899,255
高等学校	41	6,200,000	6,200,000	12,400,000
盲学校	4	265,000	265,000	530,000
聾学校	4	252,000	252,000	504,000
養護学校	2	100,000	100,000	200,000
計	298	26,783,000	26,899,055	53,682,055

高等学校部会 1会場 33名

⑥ 講師

各部会の講座を担当する講師は、福島大学教授、県教委事務局指導主事、理科教育センター指導主事、小・中・高等学校教諭などの中からそれぞれ適任者を得て、その延べ数は84人にのぼっている。

⑦ 講座内容

文部省の作成した、小・中・高校別の理科教育講座指導書をテキストとして、それぞれの会場ごとにテーマを設定し、それぞれの目的にそって実施した。

講座の形態としては、実験・観察・実習・演習・講義・デモンストレーション・討議・協議・研究授業・視聴覚教具の利円等、できるだけ多彩な方法を考慮し、これらを適宜組合わせて各テーマの指導法が具体的に理解されるようにくふうした。なお、研究授業は児童、生徒の出校日などを利用してなるべく実施するように努めた。

次に本年度の講座にとりあげられた代表的なテーマをいくつかあげてみたい。

・小学校部会

- ア. 野山の自然のありさま
- イ. 海辺の生物の種類と生活のようす
- ウ. 火成岩のおもな種類と性質と科用
- エ. ものの温度と氷のでき方
- オ. 乾電池と豆電球のつなぎ方と明るさの違い
- カ. 太陽の運行と季節の変化
- キ. 遊びの中での理科指導（かげふみとかげえ）
- ク. 具体的事実を帰納し一般化する方法（温度と氷）
- ケ. 器具器材の基礎的な取り扱いと実験操作（燃料）
- コ. 継続観察のありかた（虫の一生）
- サ. 抽象的な思考と必須な経験（紙玉でっぼう）
- シ. 薬品の管理と取り扱い
- ス. 電流の発熱作用
- セ. 地層のできかた
- ソ. 花・葉・実のしるの色や変化
- タ. 森林の植物の相互関係
- チ. 鉱物の性質

2 科学技術教育担当教員の資質向上

(1) 理科教育講座

① 目的

理科実験講座にひき続いて、昭和38年度より5ヵ年計画で実施されているもので、本年度はその第3年次にあたる。

県内の小・中学校および県立学校の教員のうち、理科を担当し、あるいは将来担当しようとする者に対して、自然科学の基本的な考え方や方法および自然科学の発展に伴う新しい見方に重点をおき、理科教育の本質を理解させ、その本質に即した指導法を修得させることを目的としている。

② 主催

文部省、県教育委員会

③ 期間

小・中学校部会 8月2日～7日（6日間）
高等学校部会（生物班） 8月23日～28日（6日間）

④ 会場および担当出張所

部会	地区	会場	担当出張所
小学校	県北 津会 浜	伊達中学校	伊達 東白川 耶麻 相馬
		棚倉小学校 喜多方第一小学校 鹿島小学校	
中学校	県南 津会	白河中央中学校 坂下高等学校	西白河 両沼
高等学校	全県	福島女子高等学校	（福女高）

⑤ 受講者数

小学校部会 4会場 計 196名
中学校部会 2会場 計 105名